

しみん基金・K O B E

NEWS

Vol.32

2014年3月号



特定非営利活動法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

神戸あいウォーク縁起

しみん基金・こうべが、復興に関わる有志の集まりで構想が練られていた「神戸復興塾」でサンフランシスコにNPOの視察に出かけることになりました。復興に関わる専門家、研究者・学生、ボランティア、行政職員、新聞記者など13人が、参加しました。現地にいる岡部さんというNPO研究者の案内で駆け足で多くの団体を視察した後、最後の日にエズウォークというエイズ対策基金への資金集めのイベントに参加しました。市内の公園に何万という人々が集まり、約10キロの道程

を歩いて一人10ドルを寄付するというものでした。これは、神戸でも出来ることと確信し、新たに設立が予定されている「しみん基金」の寄付集めの手段として、帰国してから復興塾に呼びかけて翌1999年の1月17日に第一回を実施しました。

第二回は、500人も集まれば大功と考えていたのに4千人近くの参加があり、慌てました。ひとり千円で集めた寄付をしみん基金にということとは、その時以来続けています。その後も人数は減りましたが2千人を超える人達が来てくれていました。しかし、明石の歩道橋事故が発生しイベントの安全性が問われることになり、大々的に呼びかけての開催は中止することになり、毎年30〜40人の有志が、声かけあつて、少額ですが

寄付も続けて来ました。

震災15周年を迎えた2010年のこと、新たに広く呼びかけての開催を始めようということになり、今に至っています。JR鷹取駅の南東にある大國公園を起点に、たかとり教会、野田北部まちづくり地区を通り新長田の再開発地区の内外の現在を見て、共同再建した「みくら5」まで歩いて、地元の話り部達の話に19年前を思い起こしてもらい「しみん基金」を応援するこの企画は、被災地神戸の恒例行事として定着しつつあります。

しみん基金・こうべ常務理事

野崎 隆一

(神戸まちづくり研究所理事・事務局長)



目次

平成24年度助成事業成果報告会報告 2〜3

ひょうご地域NPOマネジメント講座紹介 4

「神戸と三陸を結ぶ映画会」主催映画会紹介 4

はあ〜とふるふぁんと事業紹介

メールマガジン登録者募集

募金箱設置協力者募集

こうべあい・ウォーク2014報告

18年目のひとり言

6

5

4

3



平成24年度助成事業成果報告会

平成25年12月6日(金)14時から、コミスタ・こうべセミナー室にて、平成24年度助成事業(助成対象期間…平成24年10月1日から平成25年9月30日まで)の締めくくりとして、助成先団体による事業成果報告会を開催しました。

この報告会は、

(1)説明責任

各団体の事業によって得られた社会的な成果を、当基金への寄付者や審査プロセスにご協力頂いた皆様をはじめ市民に向けて発信する。

(2)寄付文化の創出

市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合い、今後に向けて「善意の循環」という寄付の文化を導き出す。

(3)学びつながり

各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いや、ネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。ということを目的として、毎年開催しています。

この日は助成対象だった8団体のうち6団体にお越しいただき、1年の事業や社会的成果を発表いただきました。

同時にこの会の中で、平成25年度しみん基金・こうべ特別賞の贈呈式を行いました。この賞は、神戸・兵庫地域で永年草の根活動を続けてこられた団体を表彰するもので、今年度は理事会での審議の結果、「アジア女性自立プロジェクト」を表彰することにいたしました。

今回は、発表いただく団体に事業や社会的成果の報告だけでなく、寄付集めのためのアイデアや提案をしていただけるようお願いをいたしましたところ、各団体の方々からご意見やご提案をいただくことができました。

インターネットをもっと活用し、ホームページやブログをこまめに更新していく、積み重ねが大事といったご意見、震災体験のない人にも訴えかけるような何かが必要といったご意見、お金以外のものでの寄付集めに力を入れることも案外





有効だったという貴重なご経験談などでした。
また25年度助成対象団体の方から、24年度助成対象団体の
事業報告に対する意見や感想が述べられるなど、参加され
た方々の中に気づきがあり、参加者同士で新たな繋がり
が生まれる場となりました。



当日発表された団体
事業名

日本国際学生協会
第50回日韓学生会議

ノーマライゼーション陸上スポーツ大会実行委員会
ノーマライゼーション陸上スポーツ大会

性暴力被害者支援センター・神戸
性暴力被害者のための『支援員(アドヴォ
ケート)養成講座』と支援活動の実働研修

神戸国際支縁機構
東日本大震災被災地のボランティア事業

「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会
気仙沼市「防潮堤を勉強する会」模型製作支援

一般社団法人日本カーシェアリング協会
仮設住宅でカーシェアリング(車の共同利用)
を行う事業



ひょうご地域NPOマネジメント講座 中期計画をつくろう(個別訪問つき)開催中

1月14日から、兵庫県社
会福祉協議会助成事業「ひょう
ご地域NPOマネジメント
」講座中期計画をつくろう」
を開催しています。

毎回課題をだし、それを一緒に
考えるために、次回講座ま
での間に個別訪問をする形
で講座を進めています。

受講されているのは、今年度
の当会助成対象団体が中心
で、資金面からの支援だけ
なく、包括的な支援をすす
めることができます。

外部アドバイザー

河合 将生氏

(office musubime 代表)

しみん基金・こうべ

瀬戸口 仁三郎専務理事

(株)築港代表取締役社長

江口 聡事務局長

日本ファンドレイジング

協会認定ファンドレイザー

◆開催概要

日 程：1月14日()

3月25日

場 所：しみん基金・こうべ

事務所および

各団体活動場所

外部スーパーバイザー

(企画・監修)

今田 忠氏(市民社会

研究所所長)

当間 克雄氏

(兵庫県立大学

経営学部組織経

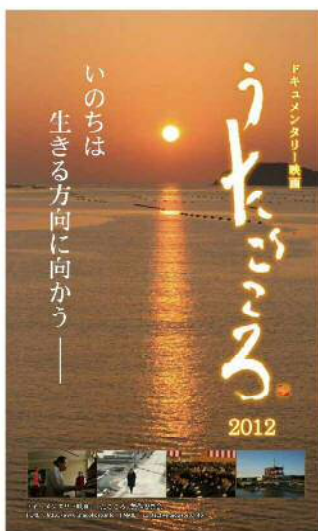
営学科グローバル

ルマネジメント

コース教授)



「神戸と三陸を結ぶ映画会」実行委員会 主催の上映会で、募金活動を行いました



1月18日(日)、神
戸市長田区にある
兵庫県立文化体育
館の小ホールにて、
ドキュメンタリー映
画「With...若き女性
美術作家の生涯」
「うたごころ2012
年版」(ともに

榎葉健監督作品)の上映会を、「神戸と三陸を結ぶ映画会」実行
委員会の主催で開催しました。

参加費収入から経費を除いた収益金を、主催した
「神戸と三陸を結ぶ映画会」実行委員会を通じて、映画「うたご
ころ」の舞台にもなっている南三陸町に寄付されました。(主催
者代表は、西宮市役所職員なのですが、東日本大震災後、1年半
の間南三陸町に派遣されて、まちの再建に尽くされた方です。)

しみん基金・こうべは、上映会の実施に実行委員会のメンバー
として協力させて頂くとともに、上映会場で当基金への募金を
呼びかけさせて頂き、3万7千358円をお預かりしました。
この募金は、しみん基金・こうべ内に設置されている「ずっと・ここ
ろ・つなぐ基金」に積み立て、毎年1回実施するしみん基金・こ
うべ助成事業を通じて、東日本大震災の被災者を支援する神戸
兵庫発のボランティア活動への助成金として活用させて頂きま
す。



はあくとふるふあんど事業

今年も兵庫県遊技業協同組合さんから委託を受け、はあくとふるふあんど支援金事業を実施しています。

ボランティアあしすと部門には、90の団体から申請がありました。今後、兵庫県遊技業協同組合理事等による審査があり、5月中ごろには助成対象団体が決まる予定です。
決まり次第、ホームページ上で、公開いたします。

メールマガジン登録者募集中!

昨年12月に団体設立15年目にして初めてメールマガジンを始めました。不定期ですが、助成対象団体の取材記事や、団体から届いた情報など、さまざまなお内容満載し、寄付したくださった方と団体とをつないでいきたいと思えます。

ご登録希望の方は、事務局までメールをお願いします。
みなさまのご登録をお待ちしています。

募金箱設置協力者募集中!

しみん基金・こうべの募金箱を設置頂ける方(店舗等)を募集しています。ただ今、設置店・団体は、愛蓮塚口店、ボックサン4店舗・赤坂飯店2店舗、ご飯屋おむすび、サロン・ド・あいり、吉芳2店舗、オレンジスリフティ、阪神高齢者・障害者支援ネットワーク、ひょうごボランティアプラザです。

まだまだ設置場所を募集しております。ご協力いただける方は事務局までご連絡をお願いします。



こうべ・あいウォーク2014

1月12日(日)に今回で16回目を迎える「こうべあいウォーク2014」を開催しました。

このイベントは、阪神・淡路大震災で被災した長田のまちを歩きめぐり、復興のプロセスや現状とその課題を知ることを通じて、震災で学んだ「市民社会」のあり方を次世代に伝えていくことを目的としたチャリティ・ウォークイベントです。

寒い中、朝早くから鷹取駅130名の参加者が集合、ガイドに分かれて、途中地元の方店で買い物したり、食べ歩口程の道のりをゆつくりとの「プラザ5」では、地域の豚汁(しし汁?)をふるまってくれました。

なお、当日スタート地点で当日経費を差し引いた約れました。この寄付金は、させて頂きます。

ご参加頂きました皆様とご協力頂きました方々に深く感謝申し上げます。

こうべ・あいウォーク

近くの大国公園に、約ド役を中心に3つのグループのお話しをお聴きしたりお話をしたりしながら、4キロ歩きました。ゴール地点ボランティアの方が具たくさんまわってくださいました。

募金(二口千円)を行ない11万円が当基金へ寄付さ
当基金の助成事業に活用

■会計報告

《収入》14万8千815円(募金11万8千815円)

協力金・近畿ろうきん3万円)

《支出》3万2千667円(印刷費1万1千円 炊き出し材

料1万4千167円 イベント保険7千5百円)

《収支差額》11万6千148円

(特記)しみん基金・こうべへ寄付

19年目のひとり言
 ～忘れられないで～

「3・11」、あの日から三度目の春を迎えようとしている。未だ自宅に戻れず避難生活を余儀なくされている方が25万人以上おられると聞く。避難が長期化することによる震災関連死が3千人を超えたとも聞いた。この3年間、多くのNPOやボランティアが現地に入り、被災地と被災された人たちの支援活動を行って来ているが総てに支援が行き渡る訳ではない。それが現実であり現実から目を背けてはいけない。私たちが何が出来ようだろう。ボランティアという直接的な形でなくても出来ること。それは、「3・11」のこと、そして今尚、震災によって苦しんでおられる人たちが同じ国にいらつしやることを忘れないことではないだろうか。

2014年3月11日、神戸新聞一面、福島市出身の俳優、西田敏行さんについてのコラムが心に響いたのでご紹介したい。
 「昨年、東北の遺体安置所を舞台にした映画『遺体 明日への十日間』で主演した時、西田さんはこのように言われていた。「遺体は『遺す体』と書きます。遺された体には必ず伝えたいことがあります」この人(西田さん)は被災地のために泣いている。言いたいこと伝えたいことを、私たちの胸に遺すため。忘れられないで、忘れないで、忘れられないで」と(抜粋)

しみん基金・こうべ
 専務理事
 瀬戸口仁三郎

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円

団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

★振込口座

三井住友銀行三宮支店

普通

7965892

みなと銀行本店営業部

普通

1597921

近畿労働金庫神戸支店

普通

4161854

郵便振替

0099015-157334

口座名義すべて

「しみん基金・こうべ」

下記URLよりクレジット決済もご利用頂けるようになりましたので、ご利用ください。

<http://mp.canpan.info/kinkobe/>
 当会ホームページからアクセスできるように鋭意作成中です！

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人37名 団体4団体
 ◆賛助会員 個人39名 団体11団体
 (2014年2月末現在)

◆新規賛助会員一覽 (敬称略・順不同)

二木 一夫、(株)マイファーム、
 はやしやまクリニック希望の家

◆寄付・募金合計金額 35万3千694円

◆寄付者・募金一覽(敬称略・順不同)

赤松 竜、中島 秀男、飛田 雄一、
 畑 文隆、朴木 佳緒留、
 兵庫県遊技業組合、オレンジスリフ

ティ、(特活)障害者自立センター、
 こうべあいウォーク2014実行委員会、ドキュメンタリー映画「WITCH」

・「うたごころ」上映会
 (2013年12月～2014年2月)

※皆様方からの貴重なご厚志に

深謝申し上げます。

少しづつ春の足音がきこえてくるようになり木々が色づくとうきうきしますね。花粉症の方にはつらい季節かもしれませんが・・・
 ニュースレターもカラー化することになりました。紙面構成なども大幅に変更する予定です。
 またホームページもリニューアル予定です。
 お楽しみに！(と)